2017.08.02

2018.03.24

**Project.D7 v2**

Discover 7th layered CF

例：銀座の場合

ポータルのリストがginza.csv で出力結果をginza.result.txtにする場合

|  |
| --- |
| $　ruby ./d7.rb ./ginza.csv > ginza.result.txt |

* Linux + ruby 2.4で作りました。
* Windowsでも動作するけど出力で文字化けするかも...
* 標準エラー出力にログを出力しています。
* ginza.csvの先頭３つのポータルを最外殻のポータルとして、その内側に全7の対象を探します。この３つを切り替えて探したい場所を指定します。
* オプションは次のパラメタのみ。それ以外は未実装です。

-7 : 7重を検索（デフォルト）

-6 : 6重を検索

-5 : 5重を検索

-4 : 4重を検索

-a : 全域を検索する（デフォルトでは頂点３つを指定したなかで探します）

-v： 冗長なメッセージを出力します

-t：三角形（triangle)の頂点を指定する検索です。（デフォルト）

-t 　:三角形で検索する（-t y と同じです）

-t y :三角形で検索する

　 -t n：渡された全ポータルで検索する

d7.logに処理状態のログを出力します。

例：

$ ruby d7.rb myportals.txt

この指定は

$ ruby d7.rb myportals.txt -7 -t y

と同じ意味です。